

令和4年度 施政方針 主要施策紹介

2月24日 令和4年第1回羽曳野市議会において令和4年度の施政方針を表明しました。今号では主な施策をご紹介します。



令和4年度は、羽曳野の未来創生への道筋をつけていく年として、一意専心で取り組んでまいりたいと存じます。

どれほど厳しい状況におかれても、現実をしっかりと受け止め、臆することなく、改革を着実に前へと進め、市民の幸福のためになると思えば、これまでの枠組みに捉われず、新たな施策の展開に果敢にチャレンジしてまいります。

そして、まちの将来像やまちづくりの方向性を市民の皆様と共有し、民間事業者、団体、NPO、大学をはじめ、多様なまちづくりの主体となる皆様との連携を図りながら、コロナ禍という非常に厳しい難局を乗り越え、誰一人取り残さない、誰もがいきいきと活躍し、安心して暮らすことができる豊かなまちづくりをしっかりと進めてまいりたいと存じます。

羽曳野市長 山人端 創

快適でうるおいのある 住みよいまち

- 一般府道郡戸大堀線歩道整備の早期完成を促進
- 恵我ノ荘駅前南側広場の整備促進
- 安全で安心してボール遊びができる広場整備
- スケートボードができる広場等、新たなニーズに対応した空間整備
- 水洗便所改造資金助成制度を拡充
- 市営向野住宅の集約建替を完了
- 碓井ポンプ場の設備更新工事を実施 など

地域がつながり 安全で心安らぐまち

- 防災倉庫を整備、災害用備蓄物資の確保
- 地域における防災講演会や研修会を開催、防災訓練の支援
- 羽曳野警察署と連携し、主要幹線道路周辺へ防犯カメラを設置
- 地球温暖化対策実行計画を策定
- 大阪府内初の取り組みとして、ペットの犬や猫へのマイクロチップ装着にかかる費用を一部助成 など

ともに支え合い 健やかに暮らせるまち

- 75歳以上の高齢者に対するインフルエンザ予防接種の公費負担を拡充
- 骨粗しょう症集団検診の市内医療機関での個別方式へ転換、検査方法の精度向上
- 西圏域において民間事業所による地域包括支援センターを開設
- がんに罹患された方に対し、医療用ウィッグ購入にかかる費用を一部助成
- 高齢者を対象とした自動通話録音機器の無料貸出しを実施
- 国民健康保険被保険者の高額療養費の支給申請手続を簡素化 など

未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち

- こどもえがお部を創設
- 向野こども園を開園、向野こども園およびこども未来館たかわしに登園管理システムの導入
- 留守家庭児童会の通年土曜開会
- 学校給食センターの新築移転整備にかかる基本計画を策定
- ALT（外国語指導助手）を増員、指導主事の増員
- ICTを活用した教育の推進
- 養育の取り決めにかかる公正証書等の作成費用や養育費保証契約に要する費用を助成 など

魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち

- （仮称）羽曳野観光局を設立
- ふるさと納税返礼品を充実、企業版ふるさと納税の活用
- 民間事業者と連携し、大阪府立環境農林水産総合研究所が墓山古墳の濠水から培養したオリジナル産業用酵母を用いた特産品を開発
- 市公式LINEやYouTube等のSNSを通じた積極的な情報発信 など

歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち

- 応神天皇陵古墳の外濠外堤の公有化を推進
- 古市古墳群の説明パネルを市役所本館屋上に設置
- パソコンやスマートフォン、タブレットで電子書籍が閲覧できる電子図書館サービスを導入
- 幼児が楽しむことができる遊具も備えた市民プールの整備（今年夏、供用開始） など

市民とともに築く 自立したまち

- 公募式タウンミーティングを開催
- 行政手続のオンライン化を推進
- マイナンバーカードの普及促進
- 市役所本館の新庁舎整備にかかる基本構想・基本計画を策定 など



主要な施策については、第6次総合基本計画に掲げる7つの「施策目標」に沿ってご紹介しました。全文については市ウェブサイトでご覧いただけます。